

5 お手入れのしかた

本製品は以下の点に注意してお手入れをしてください。

- 液体をこぼした場合は早めに水分を拭き取ってください。長時間水分を放置しておくとも木が水分を吸い込み、シミや割れの原因になることがあります。
- 普段は、柔らかい布でカラ拭きをしてください。水拭きは避けてください。
- カラ拭きで汚れが落ちないときは、固く絞った布で拭き、さらにカラ拭きをしてください。
- 化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。表面のテカリやべたつき、シミの原因になる恐れがあります。

6 点検のしかた

お子さまの安全のために、定期的に家具の点検をするようにしてください。

- 商品の破損、木部の割れ、異常音については、定期的にチェックするように心がけてください。もし異常が見つかった場合は使用を中止し、処置してからお使いになるか、販売元までご相談ください。
- ボルトや金具類はゆるみやぐらつきがないか時々点検し、ゆるんでいたらしっかりと締めなおしてください。

7 末永くご使用いただくために

- 直射日光の当たる場所や、暖房の熱は避けてください。変形・変色・木の収縮の原因になります。
- 湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。腐食・変形の原因になります。
- フローリングや畳の上でご使用になる場合は、必ずカーペット等をお敷きください。

ご注意

時間の経過により木の色が濃くなりますが、品質上に問題はありません。
本製品につきましては予告なく仕様を変更することがあります。
取扱説明書に記載のイラストは簡素化して描かれているため、実物とやや異なります。
ご購入頂きました製品がお客さままたは第三者による取り扱い上の誤りや仕様の限界を超えたご使用によって故障・破損・事故その他の不具合を生じた場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

販売元 **コンビネクスト株式会社**

メールショップ係

〒111-0041

東京都台東区元浅草 2-6-7

0120-97-7890

お問合せ先

SHIMOOKA

株式会社シモオカ ベビー&キッズ事業部
大阪府大阪市天王寺区上汐 5-3-23

T261319

コンフォートグローフィットチェア ガード付き 取扱説明書

もくじ

1. 安全に正しくお使いいただくために
2. 各部の名称と部品の個数
3. 組み立ての前に
4. 組み立てかた
5. お手入れのしかた
6. 点検のしかた
7. 末永くご使用いただくために



| | |
|----------|--------------------|
| 外形寸法 | 幅485 奥行500 高さ780mm |
| 構造部材 | 天然木・積層合板 |
| 表面加工 | ウレタン塗装 |
| 表示者 | 株式会社シモオカ |
| 原産国 | インドネシア |
| PL保険加入済み | |

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には本製品を安全にご使用いただくための注意ならびにご使用方法が記載されています。お子様の安全のために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。またこの取扱説明書はいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

対象年齢 : 6ヶ月(おすわりができるようになってから)~大人まで
耐荷重 : 80kg

●成長とともに高さを調節できます●



※乳幼児を座らせるときは必ずガード・ベルトをつけてご使用ください。

木を使用した家具にはこんな特長があります。

- 部分によって、製品によって木目や色合いが1つ1つ異なります。お客さまだけの製品をあたたく育ててください。
- 梱包開封時に塗料のにおいが残っていることがありますが、時間の経過とともになくなります。品質上に問題はありませんので安心してご使用ください。においがする場合は、部屋の換気をくりかえし行ってください。
- 湿度により木が多少収縮します。1ヶ月に一度ボルトを締めなおしてください。

フローリングや畳の上でご使用になる場合は、必ずカーペット等をお敷きください。床にキズがつく恐れがあります。

1 安全に正しくお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、【警告】【注意】の記号を以下の定義で用いています。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が軽傷および物的損害を負う可能性があります。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

| 警告 | | | | |
|---|---|---|--|---|
| <p>耐荷重以上の重さのものを載せないでください。本体が壊れてケガをするおそれがあります。</p> | <p>座板の上で立ちあがったり、横向き、後ろ向きで座ったり、踏み台として使用しないでください。落下や転倒によるケガをするおそれがあります。</p> | <p>乳幼児を座らせるときは必ずガードと保護ベルトをご使用ください。お子さまが滑り出たり落下するおそれがあります。</p> | <p>床に斜面や段差がある不安定な場所では使わないでください。転倒によるケガや破損の原因になります。</p> | <p>製品の部品の間にある隙間に腕や足を挟まないようにしてください。腕や足が抜けなくなるなどケガの原因になります。</p> |
| <p>小さなお子さまが製品をご使用になるときは常に大人が注意を払うようにしてください。特にテーブルにあわせて使用する場合、足でテーブルを蹴り上げ転倒するおそれがあります。</p> | <p>ストーブなどの火気の近くで使わないでください。火災・やけどの原因になります。</p> | <p>異常音を生じたり、ボルトがゆるんだ状態で使用しないでください。本体が壊れてケガをするおそれがあります。</p> | | |

| 注意 | | | |
|--|---|--|--|
| <p>フローリングや畳の上では必ずカーペット等をお敷きください。床が傷つくおそれがあります。</p> <p>※敷物はすべりにくいものが適しています。</p> | <p>乱暴な取扱や、座る用途以外の使用はおやめください。</p> | <p>足置き板は、つまずくおそれがあるので、絶対にフレーム先端より前に出ないよう取付けてください。</p> | <p>本製品を移動させるときには、必ず本体を持って移動させてください。ガードなどの一部のパーツを持って移動をさせると本体が壊れてケガをするおそれがあります。</p> |
| <p>本製品は業務用ではありません。業務用のご使用はお避けください。</p> | <p>天然木を使用しているため、直射日光の当たる場所や暖房の熱を避けて使用してください。また冬場の乾燥時期には、部屋での加湿器のご使用をお勧めします。</p> | <p>天然木を使用しているため、湿度により木が多少収縮します。同梱のレンチを用い、1ヶ月に1度ボルトを締めなおしてください。</p> | <p>万一湿疹やかぶれ等の症状が起こった場合は、ただちにご使用を中止し医師にご相談ください。</p> |

Step 2 子ども用のイスとして使うときは...

ひとりでイスに座っても安心なほど大きくなったお子さまには、子ども用のイスとして使用できます。

【ベビーチェアから子ども用のイスにするとき】

1 バックルとベルトをはずし、付属のレンチを使いボルトをはずしてガードを取り外します。(5.6ページを参照してください)

2 ボルトを大きくゆるめて、座板と足置きを適当な位置に決め、6ページの手順①～④に沿って差し込み、ボルトを締めて固定します。

組み替えの際、座板・足置きを落とさないようご注意ください。

- 座板と足置きの高さの調節は4ページ「③組み立ての前に」を参照してください。
- 組み替えた後、全てのボルトをしっかりと締めなおしてください。警告

Step 3 大きくなったら...

座板が窮屈に感じられるときには、足置きを座板として使用できます。

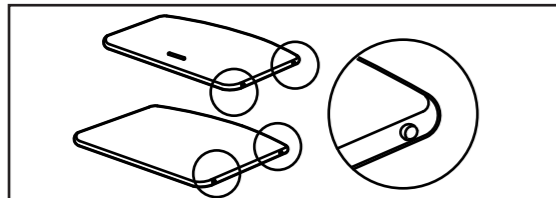
【Step 2 の状態からの組み替え】

1 ボルトをゆるめて、座板と足置きを取り外します。

2 ボルトを大きくゆるめて、適当な高さを決め、足置きを座面として座る位置に差し込み、ボルトを締めて固定します。

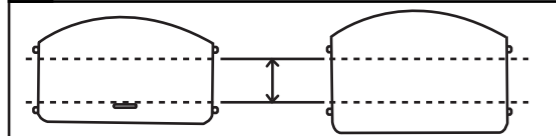
- 座板と足置きの高さの調節は4ページ「③組み立ての前に」を参照してください。
- 組み替えた後、全てのボルトをしっかりと締めなおしてください。警告

5 本体を立て、座板・足置きを差し込みます。板が入りにくい場合はボルトを少しゆるめてください。



座板・足置きには、座板と足置きのすべり出しを防止するストッパーが左右に各2か所取り付けられています。

警告 組み立ての際は取り付け位置にご注意ください。ストッパーが三角フレーム内側の溝部分に組み立てられると、座板と足置きを正しく固定できず、座板・足置きの落下や破損の原因となります。



座板・足置きを三角フレームで固定する位置は、上記の間で調整します。

注意 座板・足置きを差し込む際、座板・足置きを落とさないようご注意ください。1人が座板・足置きを中央から持ち、もう1人がボルトを固定するようにすると組み立てやすくなります。

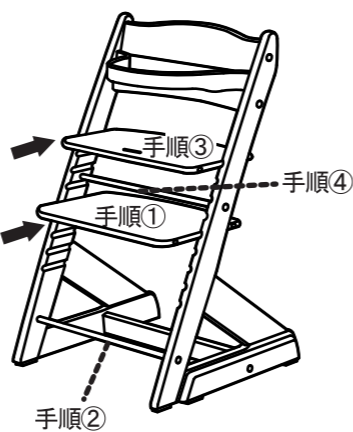
※下記手順で座板と足置きを差し込みます。

手順①・・・足置きを差し込む

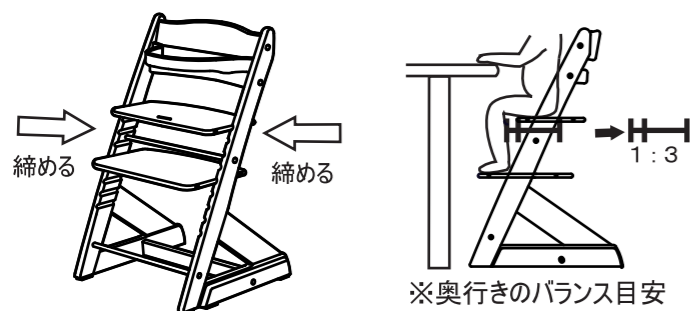
手順②・・・下の丸棒を足置きがとまる程度に左右からゆるく固定する

手順③・・・座板を差し込む

手順④・・・真ん中の丸棒を足置きがとまる程度に左右からゆるく固定する



6 全体のボルトを締め、座板・足置きを固定します。



※奥行きバランス目安

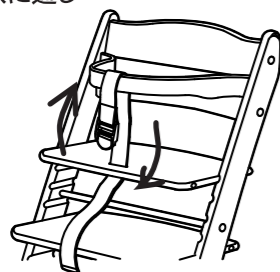
※ここまで組み立てた後、座板・足置きが動かないか、ガタツキはないかを確認してください。

- ・座板や足置きが動く場合・・・座板が動かなくなるまで、再度ボルトをきつく締めなおしてください。
- ・ガタツキがある場合・・・ボルトを少しゆるめ、全体を背板の上から押した後、再度ボルトを締めなおします。

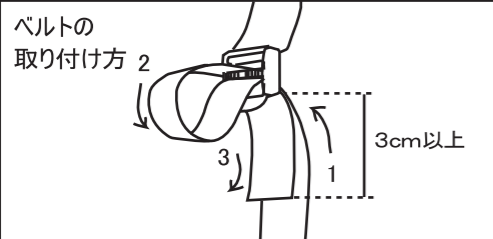
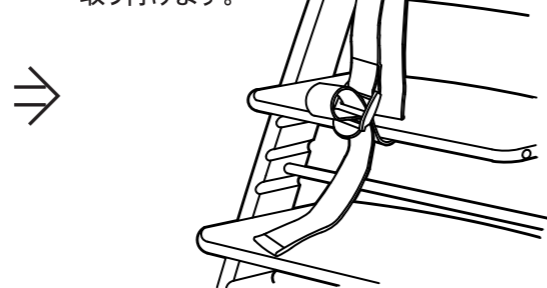
注意 組み立て後、必ずボルトの締め具合を確認してください。

7 保護ベルトを取り付けます。

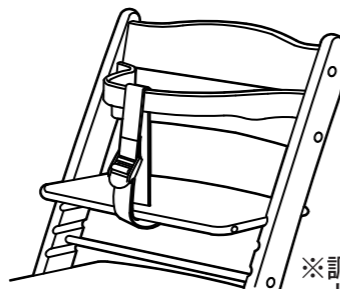
①ベルトをガードにかけ、座板の通し穴に通します。



②バックルにベルトを取り付けます。



※ベルトの調整しろは、3cm以上残してください。



※調整しろはじゃまにならないよう後ろにまわしておきます。

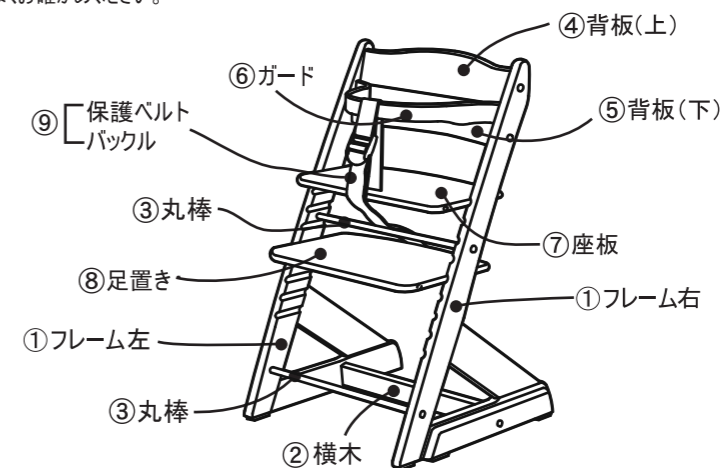
- 警告**
- 乳幼児を座らせるときは必ずベルト・ガードを付けてご使用ください。
 - ベルト、バックルは正しく取り付けてください。間違えるとベルトが外れる恐れがあります。また、ベルトは必ずピンと張っているか確認してください。
 - ベルトをまたいでいない状態で座らせてください。

2 各部の名称と部品の個数

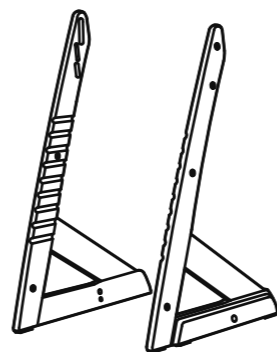
※内容物および個数をよくお確かめください。

★ベビーチェアに組み立てたときの図

各部の説明



①フレーム・・・左右各1枚



④背板上・・・1枚



⑦座板・・・1枚

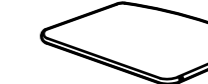


※ベルトを通す穴があるほうが前になります。

⑤背板下・・・1枚

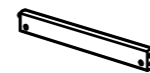


⑧足置き・・・1枚



※座板としても使用できます。

②横木・・・1本



⑥ガード・・・1枚



③丸棒・・・2本



B ボルト小・・・4本

※4本が丸棒に取り付けられています。はずして丸棒の取り付けにご使用ください。

付属品パック1



A ボルト大・ナット・・・6組

本体用



L型六角レンチ・・・1本

※ボルトをしめるときに使用します。

付属品パック2

⑨保護ベルト・・・1本 (バックル付き)



予備パーツ



A ボルト大・ナット・・・1組



B ボルト小・・・1本

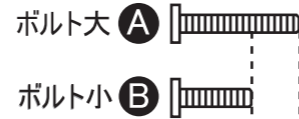
※予備パーツは通常の組み立てには使用しません。ボルトやナットのかみ合いがおかしい場合や紛失した際などにご使用ください。

3 組み立ての前に

【組み立て前の注意】※お客様の安全のためにこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく組み立てをしてください。

- 組み立て部品と本体のパーツを確認してから組み立ててください。
- 組み立ては大人が行ってください。
- 組み立ては平らな場所で行ってください。
- 組み立て部品は紛失しないよう、きちんと保管しておいてください。
- パーツの取り違えや間違った組み立てを避けるために、他の家具を同時に組み立てないでください。
- 組み立ての際は広い場所で、子どもが周囲にいないか確かめて行ってください。

※ボルトの長さは2種類あります。長さに注意して組立てましょう。



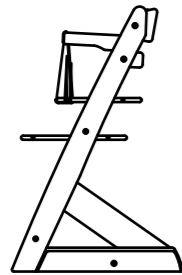
組み立てのポイント

☆座板は左右から締め付けることにより固定されます。最初は固定する程度にボルトを締め、完成後に全てのボルトをしっかり締めてください。はじめから一部だけを固く締めると、ガタつきの原因となります。

本製品は、座板の位置を調整することにより赤ちゃんからずっと、成長に合わせて使えるチェアです。成長の段階に合わせて座板の高さを調節してください。

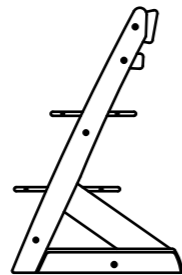
Step 1 離乳食 ～幼児期

保護ベルト・ガードを必ず使用してください。



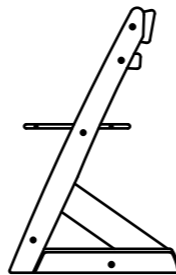
Step 2 幼児期～

ガードをはずします。



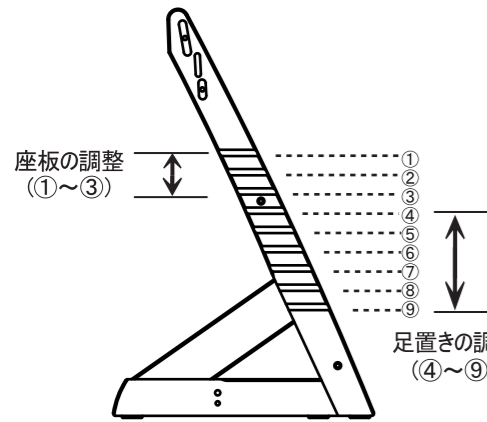
Step 3 大きになったら

足置き板を座板にします。



座板調節の目安

※下記表はあくまで目安です。体型や年齢に応じてより快適に使用できるよう調節してください。



テーブルの高さが68cmの例
(一般的に多いダイニングテーブルの高さ: 68cm～70cm)

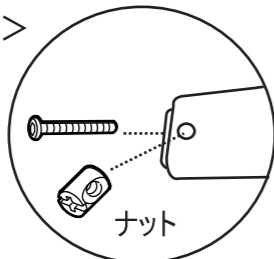
| 身長 (cm) | 60 | 90 | 105 | 120 | 135 | 150 | 165 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 座板 (段) | ① | ② | ② | ②～③ | ③ | ③ | ③ |
| 足置き (段) | ④～⑤ | ⑤～⑥ | ⑦～⑧ | ⑨ | ⑨ | — | — |

⚠注意 足置きは座板に座って足が届くように設定をしてください。足が届いていないとバランスを崩して転倒する恐れがあります。

付属部品の使い方

<ボルトとナットの取り付け方>

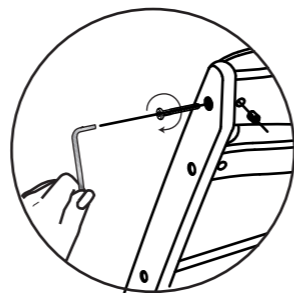
ボルト大 A



図のように板の裏側にある穴にナットをプラス(+)が見えるようにはめ込んでください。ナットのプラス(+)の十字が端まで切れている方向とボルトを入れる方向を平行にしてください。その後、図のようにボルトで固定してください。

※ゆがんでいるとボルトがしまらない場合があります。
※プラスドライバーを使うとより効果的です。

<レンチの使い方>



レンチの先をボルトの穴に入れ時計方向にまわします。

4 組み立てかた

Step 1 ベビーチェアとして使うときは...

※使用するボルトはボルト大 A と丸棒に取り付けられているボルト小 B です。

1 三角フレームを立て、横木を取り付けます。

ナットの穴がイスの座面と平行になるようにしてください。

横木: 木ダボを上

ボルト・ナット 拡大図

ボルトはまっすぐボルト穴に入るようにしてください。ボルトとナットが噛んだ時は無理に締めず、まっすぐになるように戻してください。もしくは、予備のボルトとナットに替えてください。

A ボルト大

2 三角フレームに、丸棒2本、背板上下を取り付けます。

A ボルト大

A ボルト大

B ボルト小

B ボルト小

3 図のように三角フレームの片面を下におき、向きを変え、ガードを入れます。

※ガードの向きに注意

カーブがあるほうが下側です。

上

下

ガードには上下の区別があります。必ず上側が上にくるように組み立ててください。

4 もう一つの三角フレームを上からおき、横木1本、丸棒2本、背板上下をナットとボルトで取り付けます。

A ボルト大

B ボルト小

B ボルト小

A ボルト大

A ボルト大

※ここでは固定する程度に軽くボルトを締めてください。